

高知工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	総合英語II
科目基礎情報					
科目番号	1577		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	総合科学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: Graeme Todd, Roger Palmer, Makimi Kano著, "Express Ahead" (金星堂) 参考書: 適宜, 講義で紹介する。				
担当教員	ガイン デニス				
到達目標					
【到達目標】 1. TOEICテストで400点以上のスコアを獲得するために必要な語彙力・文法理解力が身に付く。 2. 英語による会話や談話を聴いて内容を理解する中位レベル(TOEIC400点台)の能力が身に付く。 3. 英語で書かれた文章の情報を素早く的確に理解する中位レベル(の読解力が身に付く)。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	辞書を使いながら、自分の専門分野やそれ以外の様々なトピックの文章や英語論文を読み、その内容を詳細まで理解することができる。	辞書を使いながら、自分の専門分野やそれ以外の様々なトピックの文章や英語論文を読み、その大体的内容を理解することができる。	辞書を使いながらも、自分の専門分野やそれ以外の様々なトピックの文章や英語論文を読み、その大体的内容を理解することができない。		
評価項目2	自分の専門分野やそれ以外の様々なトピックの会話や説明を聴き、その概要を理解することができる。	自分の専門分野やそれ以外の様々なトピックの会話や説明を何度か聴き、その概要を理解することができる。	自分の専門分野やそれ以外の様々なトピックの会話や説明を何度も聴いても、その概要を理解することができない。		
評価項目3	辞書を使いながら、自分の専門分野やそれ以外の様々なトピックについて、150語程の英文を書くことができる。	辞書を使いながら、自分の専門分野やそれ以外の様々なトピックについて、100語程の英文を書くことができる。エラーがあっても指摘されれば、すぐに書き直すことができる。	辞書を使いながらも、自分の専門分野やそれ以外の様々なトピックについて、100語程の英文を書くことができない。エラーを指摘されても、すぐに書き直すことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	1. 4年生までに習得した文法を確認しながらwritingの練習を行い、英文による表現能力を磨いていく。 2. 英語コミュニケーション能力を測定するために開発されたTOEIC L&Rテストにおいて、中位レベルのスコアに到達するために、Incomplete Sentences, Text Completion, Reading Comprehension問題に必要な語彙・文法・速読を含めた包括的なReading対策を行うことで、英語力を向上させる。 3. 教師とのインタラクティブなやり取りを通じて、基礎的なリスニングおよびスピーキングの能力を向上させる。				
授業の進め方・方法	解説を織り交ぜながら教科書の課題を中心に進めていく。その他、追加の問題練習プリント等を課し、さらなる英語運用能力の向上を促進する。				
注意点	試験の成績を70%、平素の学習状況等(課題・小テスト・レポート・iCOCET・学習態度等を含む)を30%の割合で総合的に評価する。学期毎の評価は中間と期末の各期間の評価の平均とする。学年の評価は前学期と後学期の評価の平均とする。なお、後学期中間の評価は前学期中間、前学期末、後学期中間の各期間の評価の平均とする。技術者が身につけるべき専門基礎として、到達目標に対する達成度を試験等において評価する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション	文章の基本的な構造を理解する。	
		2週	Unit 1 "First Impressions"	冠詞の使い方を理解し、文章の中での的確に使うことができる。	
		3週	Unit 2 "Sparks at Fuji Rock"	可算名詞と不可算名詞の特徴を理解し、文章の中での的確に使うことができる。	
		4週	Unit 3 "A Stroke of Luck"	名詞の変則的な単数形と複数形を理解し、文章の中での的確に使うことができる。	
		5週	Unit 4 "Keeping Fit, Eating Well"	コロケーションの構造を理解し、文章の中での的確に使うことができる。	
		6週	Unit 5 "Advice to Freshmen"	比較の表現(比較級と最上級)の特徴を理解し、文章の中での的確に使うことができる。	
		7週	Unit 6 "A Cry for Help"	感情を表す形容詞の特徴を理解し、文章の中での的確に使うことができる。	
		8週	前期中間試験	Unit 1 ~ Unit 6までの内容を総括し、理解を深める。	
	2ndQ	9週	Unit 7 "Festivals"	頻度を現す福祉の特徴を理解し、文章の中での的確に使うことができる。	
		10週	Unit 8 "A Tasty and Easy Meal"	よりの的確に意思を伝えるために必要とされる語彙の選択について理解し、文章の中で語彙を的確に使うことができる。	
		11週	Unit 9 "The Tour de France"	動詞の過去形がどのような文脈で使われるのかを理解し、文章の中での的確に使うことができる。	
		12週	Unit 10 "Clean Water"	現在完了形がどのような文脈で使われるのかを理解し、文章の中での的確に使うことができる。	
		13週	Unit 11 "Women in Work"	過去形と現在完了形の使い分け方を理解し、文脈に応じてそれぞれを的確に使うことができる。	
		14週	Unit 12 "Controversy"	句動詞の特徴を理解し、文章の中での的確に使うことができる。	
		15週	前学期のまとめ	Unit 7 ~ Unit 12までの内容を総括し、理解を深める。	

		16週	学期末試験	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション	
		2週	Unit 13 "The Millennial Generation"	未来形がどのような文脈で使われるのかを理解し、文章の中での的確に使うことができる。
		3週	Unit 14 "The Key to Long Life"	助動詞「can」と「could」の使い方を理解し、文章の中での的確に使うことができる。
		4週	Unit 15 "The Future of Tourism"	助動詞「may」と「might」の使い方を理解し、文章の中での的確に使うことができる。
		5週	Unit 16 "Cheaper Travel"	助動詞「should」と「must」の使い方を理解し、文章の中での的確に使うことができる。
		6週	Unit 17 "Word of the Year"	Wh-疑問文の使い方を理解し、的確な疑問文を作ることができる。
		7週	Unit 18 "Considering Others"	質問をより丁寧にする婉曲表現を理解し、的確に使うことができる。
		8週	後期中間試験	Unit 13 ~ Unit 18までの内容を総括し、理解を深める。
	4thQ	9週	Unit 19 "Healthy Grades"	「at」「on」「in」などの時と場所を表す前置詞の使い方を理解し、文章の中での的確に使うことができる。
		10週	Unit 20 "A History of the Internet"	「by」「during」「for」などの期間を表す前置詞の使い方を理解し、文章の中での的確に使うことができる。
		11週	Unit 21 "The Statistics of Safety"	「by」などの手段を表す前置詞の使い方を理解し、文章の中での的確に使うことができる。
		12週	Unit 22 "Learn from the Masters"	条件を示す「if」の使い方を理解し、文章の中での的確に使うことができる。
		13週	Unit 23 "New Technology"	関係代名詞「that」の使い方を理解し、文章の中での的確に使うことができる。
		14週	Unit 24 "Rating Professors"	理由を示す「because」の使い方を理解し、文章の中での的確に使うことができる。
		15週	後学期のまとめ	Unit 19 ~ Unit 24までの内容を総括し、理解を深める。
		16週	学年末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3		
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3		
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3		
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3		
				英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
					日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
		英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	3	
			英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	
			英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	
			関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	3	
			関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	
			関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	3	
			英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	20	80
専門的能力	10	0	0	0	0	10	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0